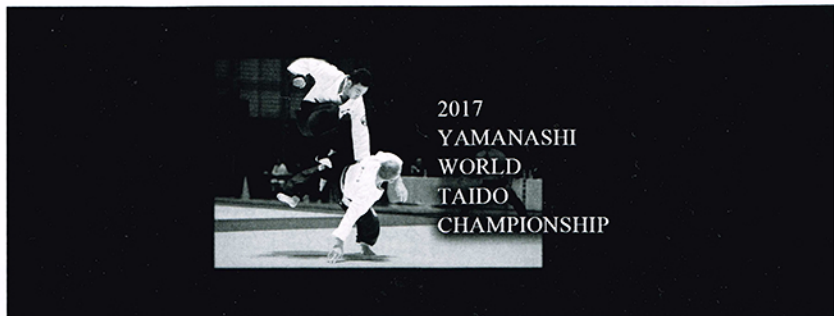


# 第7回世界躰道選手権大会

(第13回国際躰道親善大会)

2017 YAMANASHI WORLD TAIDO CHAMPIONSHIP

主催：世界躰道連盟 主管：NPO法人日本躰道協会  
 後援：外務省、スポーツ庁、山梨県、(公財)山梨県体育協会、YBS山梨放送  
 日時：2017年7月29日(土)～7月30日(日)  
 場所：山梨県小瀬スポーツ公園



## 『躰道世界大会に参加して』

平成29年7月29日・30日、山梨で開催された『国際躰道親善大会』・『世界躰道選手権大会』でスポーツPT部の先生方と一緒に活動させて頂きました。

東京都理学療法士協会の活動としてフェンシング大会のサポートをしています。今回は世界大会という競技レベルが高く語学の壁もある世界のうへ、躰道は観るのも初めてで、かつ脳震盪や顔面打撲への対処など普段経験したことのない対応に終身震っていました。しかし、4年に1度の大会にける選手の想いを肌で感じることができ大変貴重な経験が出来ました。



また、山梨の先生方は定期的に勉強会を実施し、チーム帯もしているのでスキルがとても高く、機敏でチームワークのある動き

きは大変勉強になりました。日頃から選手が最高のパフォーマンスで臨めるよう活動している経験がこのような世界大会でも発揮されるのを感じ、「私も、もっともっと精進していかなくてはいけない!」と奮起させて頂きました。

最後に、このような機会を与えて頂いたスポーツPT部の先生方に感謝申し上げます。

林外科病院 石原美知子  
 (東京都理学療法士協会)



## 坂本 稔 選手 世界一!!

### 〈大会二連覇〉

2017年7月30日、ここ地元山梨で『第7回世界躰道選手権大会』が開催されました。四年に一度、世界12カ国から代表選手が集結し世界一を決めるこの大会に、スポーツPT部の皆様のお力を借りながら、私も“日本代表”として出場しました。

そもそも【躰道】とは、1965年に沖縄で生まれた日本発祥の武道です。体軸の変化を力に変える躰道が他の武道と大きく異なる点は、バク宙など飛んだり跳ねたりするアクロバティックな動きの中から攻防が展開される所です。また、「創造進化の武道」と謳う躰道は、社会や時代の流れに即して柔軟に変化していくことも特徴といえます。

競技は「法形(型)」と「実戦(組み手)」、躰道独自の団体競技「展開」の三種類に大きく分けられます。



今回私は「団体実戦」と「展開」の二種目に出場しましたが、特にこの「展開」は日本の中でも山梨が強く、「ただ優勝するのではなく、この先誰も到達できないような展開を作ろう」という強い想いでメンバーと大会に臨みました。“大会二連覇”や“日本を背負って戦う”という重圧に苦しみましたが、当日は多くの友達や道場生、家族、患者さんまでもが会場で応援をして下さり、いつもと違う大きな力を感じながら優勝でき、「世界一」の座につくことができました。



理学療法士を目指したのも、強くなるために身体のことを知りたいという理由からでしたが20年以上躰道が続け多くの人との出会いや支援をいただいて今の自分に至っていると実感しています。これからも人と人の繋がりから生まれる可能性を信じながら、この道を進んでいきたいと思えます。

山梨北整形外科 坂本 稔

